慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	『慶應義塾大学日吉紀要· 自然科学』執筆要領
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2007
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. 自然科学 (The Hiyoshi review of natural science). No.41 (2007. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10079809-20070331-0086

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『慶應義塾大学日吉紀要・自然科学』執筆要領

1. 書式

(1) 原稿は、横書きとし、A 4 版の用紙（縦使い）に印字し、一部を提出する。和文論文 1 段組のときは 1 行42字で印刷される。

(2) 和文原稿は新仮名使いとし、なるべく当用漢字を用い、外来語と生物の和名は片仮名とする。

(3) 原稿第 1 頁目は、別紙（原稿第一頁目の書き方）の例にならって、記入する。脚注部も、別紙例や既刊論文にならうこと。著者が複数で所属が異なる場合は、各人に[1)]、[2)]、[3)]…を付けて区別し、脚注に所属を明記すること。単独の場合や、複数でも同一所属の場合は不要。

(4) 原著論文の構成は各分野の慣習に従うが，①要約（Summary），②序文（Introduction），③材料と方法（Materials & Methods），④結果（Results），⑤考察（Discussion），⑥謝辞（Acknowledgements），⑦引用文献（References）から成ることが望ましい。要約は欧文とし，150語前後で内容を簡潔にまとめ，最大 6 個の Key words を付ける。原著論文以外の報文も，欧文表題を必ず付け，欧文要約があることが望ましい。欧文原稿の場合は和文表題を付ける。

(5) 欧文論文･欧文要約の著者名は、Yukichi FUKUZAWA のようにし、題名は Old Records of Uncommon Animals in Japan…のように、名詞･形容詞などの最初を大文字にすること。

2. 図版・写真

(1) 図および表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図 1 」、「表 1 」などの要領により記入）、図、表明および、説明ならびに出典などを記し、本文原稿の欄外には、それぞれの挿入箇所を指定するものとする。

(2) 写真は、写りの明瞭なもので、図および表の扱いに準じて通し番号、説明を付けた上、挿入箇所を指定するものとする。

(3) 図･表･写真は、電子媒体およびメールにての投稿も受け付けるが、同時に紙に印刷したものも提出するものとする。

(4) カラー印刷が必要な場合は、応募段階で編集代表に申し出て、協議される。

3. 注・引用文献

文献は本文に引用したものに限り，文献の並べ方の様式は各分野の慣習に従う。個々の文献の記載例を下に掲げるが，各分野の慣習に拠ってもよい。また，文献の表題は省略してもよい。

[雑誌]

磯野直秀（2006）タコノマクラ考：ウニやヒトデの古名，慶應義塾大学日吉紀要・自然科学編，

39号，53–79.［「巻」の表示の雑誌はゴチック数字のみで可］
Kodama M. and Omote M. (2005) Studies on the shadow III (the Earth's shadow) The Hiyoshi Review of Natural Science, Keio University, 38, 57–66.
［書籍］
竹脇　潔（1978）無脊椎動物の変態，日本発生生物学会編『変態の生物学』，1–34，岩波書店。
Nordlund J. J., Boissy R. E., Hearing V. J., King, R.A., Oetting W.S. and Ortonne, J. P. (2006) The Pigmentary system, Blackwell publishing.
Bergel, D. H. & Shulz D. L.（1971）Arterial elasticity and fluid dynamics. In "Progress in Biophysics and Molecular Biology", Vol.22, pp.3–36, eds. J. A. V. Butler & D. Noble, Pergamon Press.

4．原稿提出時とその後の注意

(1) 原稿を提出するときは指定の「編集用カード」（別紙）を添付すること。
(2) 紙媒体と同時に電子媒体（FD，CD，メールなど）も提出すること。そのとき、氏名、使用機種など必要事項が分かるように記載すること。
(3) 再校までは著者が行なう。原稿，原図などは，著者に返却されるものとする。

（2006年10月17日の自然科学部門会において承認・改訂）